宿泊施設（アコモデーション）：特別なニーズのある人を支援するサービスや設備 （車いすのランプ、シャワーの手すりなど）。

擁護者： タスクや目標を達成する人の支援をするために働く人。

擁護（アドボカシー）：他人に代わって援助、支援すること。

反差別：経歴、人種、性別などに関係なく、誰もが同じように扱われるべきであるという信念。

異議申し立て：決定事項の変更を求めること。担当者に求められることが多い。

申込用紙：プログラムに参加したり、仕事を得たり、住居を借りるために記入するフォーム。

自主性：自分で選択する自由。

ケースマネジメント：擁護者と参加者が面談し、目標、ニーズ、その他相談したいことについて話す際の予約の種類。

共同 生活： 血縁関係のない2人以上が同居する居住スタイル。この居住形態には、バスルーム、キッチン、リビングルームなどの居住スペースを共有することが含まれる。

集団生活：同じ敷地内でも異なる居住ユニットに暮らす居住スタイル。この居住形態では通常、血縁関係のない家族はリビングルーム、キッチン、バスルームなどのスペースを共有しない。

コミュニケーション：話し合い、手紙、メール、テキストメッセージなど、情報を共有する方法。

守秘義務、プライバシーの権利：機関からサービスを受ける方の個人識別情報とサービス利用に関する法的保護。

カウンセリング：認定メンタルヘルスプロバイダーとトラウマやメンタルヘルスに関するあらゆることを話し合うために 設定した時間。

扶養家族：金銭的なニーズのほとんどをあなたに頼る人。フルタイムまたはパートタイムで世話をしている子供、高齢の両親や祖父母が含まれる。また障がいのある成人した子供も含まれる。

ディクテーション：声に出して話した言葉を、聞く人が書き留めること。

尊厳：大切にされ、倫理的に扱われる権利。

例外：特定のルールに従わないケース。

延長：より長い期間。

苦情：対立、不満、懸念事項。

心身一体的な癒し（ホリスティックヒーリング）： クライアントの人生を通じて支援すること。

識別：身元を他の人に知らせる。

違法行為：法律に違反する行為。

差し迫った危険：すぐにでも起こり得る危険や危害。

合法的に独立した未成年者：各州の裁判所から成人として認められる法的手続きを完了し、両親から合法的に離れ、自分ですべての決定ができる18歳未満の未成年。

義務：法律で命じられ、要求されること。

仲介：問題を解決するために両当事者を助ける行為。問題に関係のない人物が支援することが多い。

恒久的：固定され、変更される可能性がほぼないこと。

許可：誰かが何かをすることに同意すること。

ポリシー：従うように求められるガイドライン。

プライバシー：情報を自分だけのものにし、共有しない権利。

紹介：他のグループ、プログラム、または役に立ちそうな人々の名前と連絡先。

リソース：何らかの形であなたを支援できる情報。

散在地での生活：プログラム利用者が家主からコミュニティ内の住居を賃借する居住スタイル。この居住形態では、住居プログラムで血縁のない他の利用者と家の一部を共有することはない。

サバイバー：危険にさらされたり、危害を加えられたりした経験のある人。

暫定的：永遠に続くことのない、古いものから新しいものを始めるまでの期間。

暫定的住居（トランジショナルハウジング）：6か月～24か月間提供される一時的な住居。

交通手段：ある場所から別の場所まで行く方法（車、バス、地下鉄、飛行機など）。

トラウマに配慮した住宅とサービス：当事者の過去と以前のトラウマを理解することに基づくサバイバーサービスの指針となる理念。当事者を最善に支援することに繋がる。

有効：合法。

ビジョン：自分自身の姿、目標、夢。

任意：あなたの選択。

任意の支援サービス：利用するかしないかを選択できる、役に立つサービス。

免責：特定のルールに従わなくても良いことを示すフォーム。